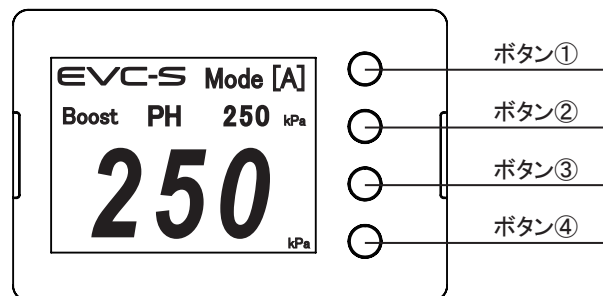
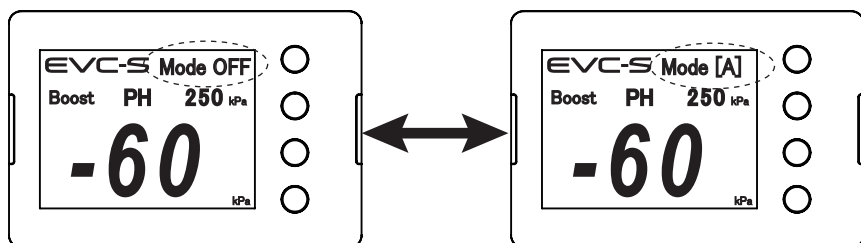


4. メイン画面操作



4. 1. EVC機能の切替え

メイン画面表示の時、ボタン①を長押しするとEVC機能ON/OFFが切替わります。EVC機能OFFの時には、EVC-S2による制御を行わずノーマルブーストとなります。



4. 2. ブーストモードの切替え

メイン画面表示の時、ボタン①を短押しするとブーストモードがA→B→C→D→Aと切替わります。

4. 3. ピークホールド値リセット

メイン画面表示の時、ボタン②を長押しするとピークホールド値がリセットされます。

4. 4. ブーストセット画面への切替え

メイン画面表示の時、ボタン③を長押しするとブーストセット画面に切替わります。

4. 5. メニュー画面への切替え

メイン画面表示の時、ボタン④を長押しするとメニュー画面に切替わります。

4. 6. サーキットモード、スクランブルモード画面への切替え

メイン画面表示の時、ボタン①を押しながら素早く②を押すと設定によりサーキットモードまたは、スクランブルモード画面に切替わります。

サーキットモード、スクランブルモード画面の時、ボタン④を長押しするとメイン画面に切替わります。

簡単設定

はじめに、操作方法「1.ブースト制御概要」を読んでいただき以下の順序で設定操作すると、大まかなブースト設定が行えます。

1. 目標ブーストより若干大きい「ワーニング値」を設定してください。

アドバイス 思わぬブーストがかかった場合でも、ワーニング動作でのドロップ機能(P29参照)でエンジンのダメージを回避することができます。

2. 目標ブーストになるまで「オフセット値」を変更してください。

注意 数値を大きく変えると、思わぬブーストとなり、エンジンにダメージを与えることがあります。数値を少しずつ変化させて調整してください。

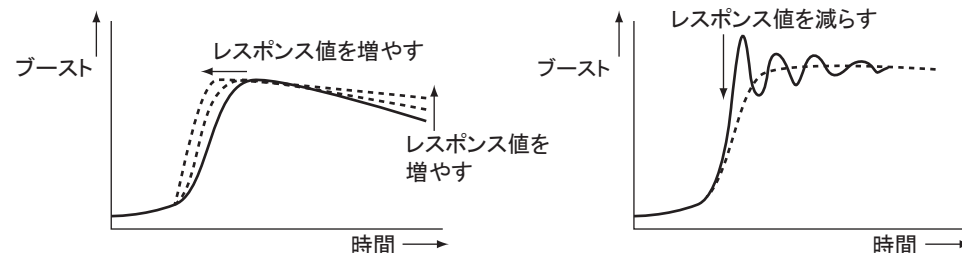
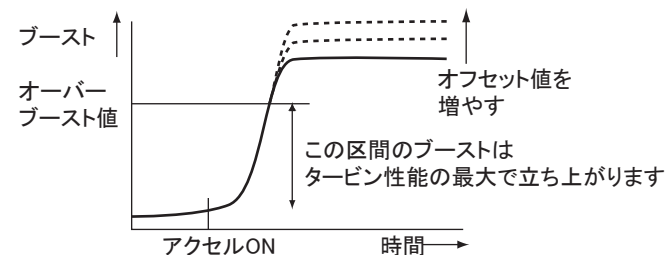
3. ブーストのオーバーシュートが出なくなるまで、もしくは許容オーバーシュートになるまで「オーバーブースト値」を変更してください。 ブーストの立ち上がりが良くなります。

4. 「レスポンス値」を大きくするとレスポンスが良くなり、エンジン高回転時にブーストのたれを抑えることができます。 「レスポンス値」が大きすぎるとブーストのハンチングが発生します。 小さな値に戻してください。

アドバイス レスポンス値を大きくすると、ブーストが100kPa以下の場合、若干上がる傾向になります。100kPa以上の場合、若干下がる傾向になります。「レスポンス値」を変更する場合は、あらかじめ「オフセット値」を見込み変更することをおすすめします。

※下記図を参考に設定を行ってください

(図に記載された設定を行うことで点線のようなブーストになります)

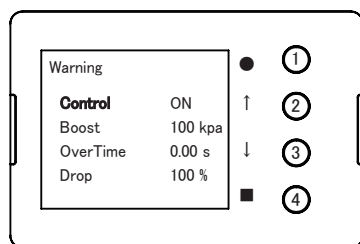


5. 設定

5. 1. ワーニング設定

ワーニング機能の設定を行います。

- Control : 設定範囲 OFF ↔ ON (初期値 ON)
OFF にするとワーニングは作動しません。
ON にすると設定に応じたワーニング作動を行います。
- Boost : 設定範囲 0 ~ 250 kPa (初期値 100 kPa)
ワーニングが作動するブースト値を設定します。
- Over Time : 設定範囲 0.00 ~ 2.50 s (初期値 0.00 s)
ワーニングが作動するまでの猶予時間を設定します。
- Drop : 設定範囲 0 ~ 100 % (初期値 100 %)
ワーニング作動中は、バルブ制御値から Drop 値を引いた値で制御を行います。

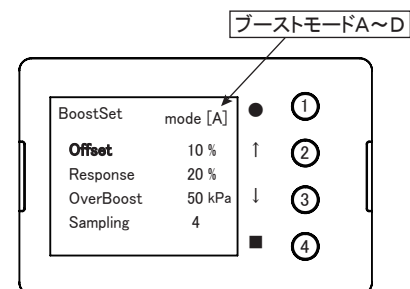


メニュー画面から Warning を選択してワーニング画面に切替えます。
基本操作を参考に、設定値の変更を行います。
設定値の変更が終了したら、左側の項目が黄色で表示されている状態で、ボタン④を短押しするとメニュー画面に切替わります。ボタン④を長押しするとメイン画面に切替わります。

5. 2. ブースト設定

ブーストを制御するための基本設定を行います。

- Offset : 設定範囲 0 ~ 100 % (初期値 10%)
値を大きくするとブーストが上がり、小さくするとブーストが下がります。
- Response : 設定範囲 0 ~ 100 % (初期値 20%)
値を大きくするとブーストの立ち上がりが早くなり、オーバーシュートやハンチングが出やすくなります。
値を小さくするとブーストの立ち上がりが遅くなり、オーバーシュートやハンチングが出にくくなります。
値を変えると、若干最大ブーストが変わります。
- OverBoost : 設定範囲 0 ~ 250 kPa (初期値 50 kPa)
バルブがブースト制御を開始するブーストとなります。設定値まではアクチュエータへの圧力が 0 kPa になり、タービン性能の最大でブーストが立ち上がります。
値を大きくすると Response 値を大きくするより立ち上がりが良くなり、早く目標ブーストに達することができます。
目標ブーストに近すぎる値では、オーバーシュートが出やすくなります。
- Sampling : 設定範囲 1 ~ 5 (初期値 4)
通常は変更する必要はありませんが、ハンチングの発生などでブーストが安定しない場合に設定を変更してください。

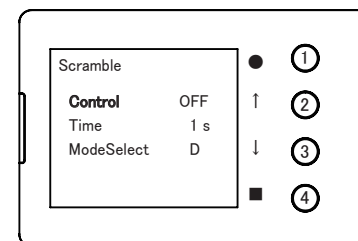


メイン画面が表示されている状態でボタン③を長押しし、ブーストセット画面に切替えます。
ボタン④を短く押して、設定を変更したいブーストモード A ~ D を選択します。
基本操作を参考に、設定値の変更を行います。
設定値の変更が終了したら、左側の項目が黄色で表示されている状態で、ボタン④を長押しするとメイン画面に切替わります。

5. 3. スクランブル設定

スクランブル機能の設定を行います。

- Control : 設定範囲 OFF ↔ ON (初期値 OFF)
OFF にしてスクランブルモードに移行した場合は、サーキットモードになります。
ON にしてスクランブルモードに移行した場合は、設定に応じたスクランブル動作を行います。
- Time : 設定範囲 1 ~ 60 s (初期値 1 s)
スクランブル動作の継続時間を設定します。
- ModeSelect : 設定範囲 A ~ D (初期値 D)
スクランブル作動時に切替わる、ブーストモードを設定します。



メニュー画面から Warning を選択してワーニング画面に切替えます。
基本操作を参考に、設定値の変更を行います。
設定値の変更が終了したら、左側の項目が黄色で表示されている状態で、ボタン④を短押しするとメニュー画面に切替わります。ボタン④を長押しするとメイン画面に切替わります。

5. 4. ファンクション設定

ファンクション機能の設定を行います。

- After Image : 設定範囲 OFF ↔ ON (初期値 OFF)
OFF にするとアフターイメージ表示を行いません。
ON にするとアフターイメージ表示を行います。
- Peak Memory : 設定範囲 OFF ↔ ON (初期値 ON)
OFF にするとピークホールド値を記憶しません。
イグニッションオフにすると、ピークホールド値は 0 になります。
- Buzzer : 設定範囲 OFF ↔ ON (初期値 ON)
OFF にするとワーニング、スクランブルの作動以外はブザーが鳴りません。
- Adjust : 設定範囲 NO ↔ YES (初期値 NO)
YES にしてボタン①を長押しすると、圧力センサの 0 点調整を行います。
0 点調整を行う場合は、イグニッションオンでエンジンを始動していない状態で行ってください。